



沖医発第 1060 号 F
令和 8 年 10 月 6 日

地区医師会担当理事 殿

沖縄県医師会
理事 鈴木 幹男
(公 印 省 略)

第 39 回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」
(2027 年 1 月 30 日～31 日) の開催について (ご案内)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、日本医師会より、標記ワークショップの案内が別紙のとおり届いておりますので、ご連絡申し上げます。

当ワークショップは、地域医療を担う医師による医学生や研修医に対する指導が求められているため、指導医としての教育能力を身に着けることを目的に開催されております。

つきましては、貴会に参加希望者がおられましたら、「別紙：参加希望申込書」(Word ファイルは文書映像データ管理システムに掲載)を取り纏めの上、来る 11 月 16 日 (月) 迄に word ファイルにより本会宛メール (gl@okinawa.med.or.jp) にてお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

なお、参加申込が定数を超える場合は、日本医師会で抽選とさせていただくこと、また、受講に係る旅費につきましては、参加者ご自身の負担となりますことを予めご了承くださいますようお願いいたします。

ただし、日医から参加が認められた者のうち、本会会員 4 名に限り参加費用を本会にてお支払いいたしますことを申し添えます。

謹白

記

【第 39 回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」】

日 時：2027 年 1 月 30 日 (土) 9:00 ～ 19:00
2027 年 1 月 31 日 (日) 8:30 ～ 16:35

会 場：日本医師会館 5 階会議室

方 法：2 日間のワークショップ形式

参加者：7 年以上の臨床経験を有する者 (都道府県医師会推薦で、日本医師会会員優先)

参加費：日本医師会会員 4 万円/都道府県医師会会員または地区医師会のみ 6 万円

(別紙 1)

日本医師会 第 39 回「指導医のための教育ワークショップ」

趣旨

わが国の医学教育は、新しい医学・医療の進歩と社会のニーズに対応するため、カリキュラムの改善、共用試験（C B T・O S C E）の標準化などの取り組みが重ねられてきた。令和 3 年の医師法改正により共用試験が医師法に位置づけられ（令和 5 年 4 月 1 日施行）、診療参加型臨床実習の実質化が期待される。

かかる状況の下、医学部・医科大学では、地域の医療機関における卒前臨床実習がカリキュラムに組み入れられ、さらに医師臨床研修制度においても地域医療研修が必修とされている。

このため、地域医療を担う医師による、医学生や研修医に対する指導が求められていることから、指導医としての教育能力を身につけることを目的として、日医会員のためにワークショップを開催する。

本ワークショップでは、教育目標の設定、教育方法の立案および評価法の策定が重要であることを強調する。

なお、平成 21 年 4 月より、本ワークショップをはじめとする医師の臨床研修に係る指導医講習会を受講したことが医師臨床研修制度における指導医の必須要件となっている。

主 催 日本医師会

テーマ 研修医へのカリキュラム立案

日 時 2027 年 1 月 30 日（土）9 時 00 分 ～ 1 月 31 日（日）16 時 35 分

会 場 日本医師会館 5 F 会議室
〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16

方 法 2 日間のワークショップ形式（講習時間 16 時間 00 分）
※宿泊の手配は受講者自身による。

参加者 32 名
都道府県医師会推薦参加者（7 年以上の臨床経験を有する者）
＊日本医師会員を優先する。

申込方法 都道府県医師会を通じて申し込む。
＊参加可否の他必要事項をメールでご連絡します。参加希望者と連絡が取れない場合が増えていますので、申込みに当たっては、所属医療機関の事務担当者名およびメールアドレスの記載を原則とします。

参加費用 日本医師会員 44,000 円（税込み）

都道府県医師会または郡市区医師会のみ
の会員 66,000 円（税込み）

非会員 88,000 円（税込み）

（注意事項）

1. 事前振込みとし、開催 3 日前（2027 年 1 月 27 日）までにキャンセルの連絡がない場合は原則として返金しない。
2. 振込期限は遵守すること。連絡なく振込期限を過ぎ、かつ、本会と連絡が取れない場合には、参加資格を無効とする場合がある。
3. 参加キャンセルの場合は、振込の有無にかかわらず、必ず本会に連絡すること。

修了証 日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」を修了した者に、「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」（平成 16 年 3 月 18 日付け医政発第 0318008 号）に基づく、日本医師会長、厚生労働省医政局長連名の修了証書を発行する。

日本医師会生涯教育制度 13.5 単位・9 カリキュラムコード

カリキュラムコード

「1：医師のプロフェッショナリズム」、「4：医師－患者関係とコミュニケーション」、「5：心理社会的アプローチ」、「6：医療制度と法律」、「7：医療の質と安全」、「10：チーム医療」、「12：地域医療」、「15：臨床問題解決のプロセス」、「0：最新のトピックス・その他」

ワークショップスタッフ

ディレクター

池端 幸彦 日本医師会副会長
笹本 洋一 日本医師会常任理事

チーフタスクフォース

福井 次矢 日本薬科大学学長

タスクフォース

内田 博 東京都健康長寿医療センター麻酔科
倉本 秋 一般社団法人高知医療再生機構理事長
小林 大輝 東京医科大学茨城医療センター総合診療科教授
高村 昭輝 富山大学医学部教授
羽金 和彦 介護老人保健施設ファミール滝の原管理者

事務局

日本医師会生涯教育課

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16

e-mail：syogai@po.med.or.jp

TEL 03-3942-6139（直通）

(別紙2)

第39回 日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」プログラム
 テーマ「研修医へのカリキュラム立案」(案)

第1日 2027年1月30日(土)

時刻	形式	所要時間	内 容
			受付
9:00		10分	プレテスト
9:10			開会 ディレクター・タスクフォース挨拶
9:20	(1時間10分)		アイスブレイキング：研修医の多様性
(9:20)	PL	5分	研修医の多様性や指導医としての悩み
(9:25)	G	40分	研修医の多様性や指導医としての悩み (World Cafe)
(10:05)	P	20分	発表 (各グループ 4分、全体意見交換 4分)
(10:25)	PL	5分	研修医の多様性 まとめ
10:30	PL	10分	ワークショップとは
10:40			休憩 (5分)
10:45	(1時間10分)		GW1：あなたが今思う「理想の医師はどんな医師？」
(10:45)	PL	10分	KJ法
(10:55)	G	40分	I 10分、G 30分
(11:35)	P	20分	発表・討論 (各グループ 5分：発表 4分、討論 1分)
11:55	PL	30分	最近の卒前教育の現状
12:25			昼 食 (40分)
13:05	(2時間10分)		GW2：教育目標
(13:05)	PL	30分	カリキュラムとは・研修目標とは
(13:35)	G	10分	ユニットテーマの選択
(13:45)	G	60分	教育目標作成
(14:45)	P	30分	発表・討論 (各グループ 7.5分：発表 5分、討論 2.5分)
15:15			休憩 (5分)
15:20	(1時間50分)		GW3：教育(学習)方略
(15:20)	PL	20分	教育(学習)方略とは
(15:40)	G	60分	教育(学習)方略作成
(16:40)	P	30分	発表・討論 (各グループ 7.5分：発表 5分、討論 2.5分)
17:10	PL	30分	コーチング (動画)
17:40	(1時間10分)		ロールプレイ テーマ：指導医のあり方
(17:40)	PL	5分	トリガー動画
(17:45)	G	40分	シナリオ作成
(18:25)	P	25分	発表・討論 (各グループ 5分、全体討論 5分)
18:50	P	10分	第1日目の評価記入・提出
19:00			写真撮影・第1日終了

第2日 2027年1月31日(日)

時刻	形式	所要時間	内 容
8:30	P L	5分	振り返り
8:35	P L	30分	医師臨床研修制度の理念と概要・到達目標・修了基準
9:05	(2時間15分)		GW4:教育評価
(9:05)	P L	5分	プレ教育評価演習
(9:10)	P L	20分	教育評価とは
(9:30)	G	65分	教育評価作成
(10:35)	P	30分	発表・討論(各グループ 7.5分:発表5分、討論2.5分)
(11:05)	P	10分	教育評価まとめ
(11:15)	P L	5分	ポスト教育評価演習
11:20	P L	30分	臨床研修病院の第三者評価について
11:50		昼 食 (40分)	
12:30	P	5分	教育評価演習結果発表
12:35	(1時間40分)		GW5:SEA Session
			テーマ:医師の成長と振り返り
(12:35)	P L	15分	SEA 体験説明
(12:50)	G	20分	SEA 体験
(13:10)	P L	5分	「SEA 体験」作業指示
(13:15)	G	25分	SEA 体験(プロダクト作成)
(13:40)	P L	20分	SEA 体験全体発表(各グループ 4分、全体討論4分)
(14:00)	P L	15分	SEA 体験解説
14:15		休 憩 (5分)	
14:20	(1時間20分)		GW6:指導医に求められる資質・能力
(14:20)	P L	10分	KJ法
(14:30)	G	45分	指導医に求められる資質・能力作成 (2次元展開法)
(15:15)	P	25分	発表・討論(各グループ 5分、全体討論5分)
15:40	P	5分	ポストテスト
15:45	P	30分	第2日目の評価記入・提出 参加者コメント(1人30秒) プレテスト・ポストテスト結果発表
16:15			修了証授与 閉会挨拶 閉会
16:35			終 了
	I	(Individual work):個人作業	P L (Plenary lecture): 全体講義
	G	(Group work):グループ作業	P (Plenary session): 全体討論

（別紙 4）

摘要欄（医師会用）

第 39 回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」 確認書・参加希望申込書

私は、以下のすべての事項に承諾し、第 39 回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」（2027 年 1 月 30 日（土）・31 日（日）開催）への参加を希望します。

1. 2 日間すべての内容に参加できること。
2. 基本的なパソコンの使い方に加え、メールの送受信、OS やソフトのインストール・アップデート、Word、Excel、PowerPoint の使用に十分慣れていること。
3. 本ワークショップは、「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」（平成 16 年 3 月 18 日付け医政発第 0318008 号厚生労働省医政局長通知）に基づき開催されることについて了解すること（特に 16 時間以上の講習が義務付けられていることに留意されたい）。

●上記開催指針については、以下サイトを参照のこと。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000068462.html>

年 月 日

氏 名 _____

フリガナ：	性別：	年齢：
氏 名：		
医療機関名：	役職：	診療科：
メールアドレス：		
(所属医療機関の事務担当者名・メールアドレス：)		
参加可否のメールを CC でご連絡します。参加希望者と連絡が取れない場合がありますので、原則としてご記載ください。		
日医会員： 会員 ・ 会員外	都道府県または市区医師会： 会員 ・ 会員外	
受講理由： ・ 臨床研修制度における指導医要件 ・ 学会専門医制度における指導医の認定・更新 ・ その他 ()		
臨床研修の指導医講習会の受講歴： 有（主催者名： ） ・ 無		

※参加を希望される方は、上記事項に承諾・入力の上、案内のあった医師会にお申込みください。

※word ファイルへの直接入力としてください（判読困難な場合が多いため、手書きによる申し込みは受け付けません）。

※入力されたメールアドレス宛に、2026 年 12 月 2 日（水）に参加の可否のメールをお送りします。未着の場合、必ずご連絡ください。

※workshop@po.med.or.jp からご連絡します。受信できるよう設定してください。

※代理で申込みされる場合、必ず参加希望者本人から上記事項の承諾を得てください。